

# 歯を磨けば命が輝く 歯原性菌血症の怖い話



花田 信弘 (はなだ のぶひろ)

福岡県出身 歯学博士

鶴見大学 歯学部 探索歯学講座 主任教授

国立感染症研究所 口腔科学部長を経て現職。

全国各地の大学歯学部の講師を務める。

## 第7話 口の中のエイリアンが胃へ定着する

結核など多くの感染症は制圧されましたが、人間の力では制圧できない感染症が口の中にあります。口腔感染症です。細菌が歯の表面にフィルムのように張り付いているのでバイオフィルム感染症とも言います。バイオは生命という意味です。フィルムは膜ですからバイオフィルムは生物膜と訳します。一つ一つの細菌が歯の表面に集まって糖質のよろいをかぶった状態をイメージしてください。細菌のまわりのよろいのような糖質が殺菌消毒剤や抗菌剤を跳ね返すので、バイオフィルムにはくすりが効きません。バイオフィルムというエイリアンを葉でやつつけることができないので毎日せっせと歯を磨かなくてはなりません。今回は、歯原性菌血症の原因となる口の中の細菌を飲み込むとどうなるかについてお話ししましょう。



ピロリ菌が胃に定着すると胃潰瘍や胃がんが発症します。これは有名な話です。このピロリ菌、胃に行く前はお口にいるのです。ピロリ菌がお口にいることはあまり知られていません。歯のバイオフィルムにピロリ菌は棲んでいます。唾液にも出てきます。1050名のピロリ菌調査で633名

(60.29%)の人の唾液からピロリ菌が見つかっています(Int J Med Sci 2015)。唾液からピロリ菌が見つかる人はお口からいつもピロリ菌を胃に飲み込んでいます。胃潰瘍の既往が多いことがわかりました。ピロリ菌はむし歯、歯周病、口内炎などお口の病気とも関係しています。口から口へのルートがピロリ菌の重要な伝播方法です。大人になつてからも口から口へ唾液感染するので心当たりのある人は注意しましょう。心配な方は近くの歯科医院でお口のバイオフィルムを除去してもらおうといひですね。バイオフィルムには除菌療法で使うくすりが効きません。ピロリ菌の除菌療法を受けるときは念入りに歯磨きをする必要があります。なお、ピロリ菌は歯周病菌と同じ毒素(内毒素LPS)を持っていますから歯原性菌血症で血管内に定着すると血管の炎症を招きます。

理屈はともかく、毎日歯を磨くことが最善の策です。



 鶴見大学歯学部探索歯学講座

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL.045-581-1001

<http://dent.tsurumi-u.ac.jp/>

 一般社団法人 口腔除菌協会

東京都港区六本木7-17-10

TEL.0120-59-6480

<http://www.kenko-station.jp>